

所 属	農政部 農産園芸課		
担当(係)名	野菜・果樹特産担当	内線	2862

本県産果実のトップブランド化の推進

1 事業費	【財源内訳】	【主な使途】
2,000	一般財源 2,000	需用費 1,440 (消耗品費等)
(前年度 3,000)		旅費 363

2 背景・現状

本県は、甘柿の出荷量が全国第1位(H18年産)、栗の収穫量では全国第4位の主産県であり、柿と栗は本県果樹農業の基幹品目となっている。

また、「柿の王様」と称される「富有柿」や高品質品種として評価の高い「利平ぐり」並びに銘菓「栗きんとん」は本県が発祥の地であるなど、柿と栗は本県の歴史や地域性に深く根ざした特産物として位置付けられ、県内各産地にて生産振興が図られているが、栽培面積は生産者の高齢化等に伴い漸減傾向にある。

このような状況の中で、柿については、国内他産地の台頭や消費の減少により、消費者に対する「岐阜の柿・富有柿」としてのアピールや差別化が図り難くなっている一方、栗については、生産量が十分でなく県内菓子製造業者等における「栗きんとん」の原材料等としての大きな潜在需要に十分応えきれていない現状にある。

3 事業目的

柿については、袋掛け富有柿の生産拡大を進め、その中でも最高水準の品質を誇る「果宝柿」を本県のトップブランドとして育成することにより、岐阜柿全体の生産拡大及び生産者の経営安定に結びつける。

栗については、大苗育苗技術の開発により植付け時の作業負担を軽減することで、耕作放棄地などを活用した新植・改植を進めるとともに、渋皮の剥きやすい新品種「ぼろたん」の導入を進めるなどにより、一層の生産拡大を図る。

4 事業概要

(1) 柿

新ブランド柿の生産拡大、PR及び販路開拓

袋掛け富有柿の栽培技術の統一及び研修会の開催等を通じた高品質安定生産技術の普及推進による生産拡大を図るとともに、新ブランド柿「果宝柿」の販路開拓に取り組む。

袋掛け富有柿に含まれる機能性成分・食べ頃に関する調査

- ・カロテノイド類を中心とした機能性成分の分析・解明
- ・携帯型非破壊硬度計を用い、果肉の硬さが日持ち性や食感に与える影響を調査。

(2) 栗

岐阜県栗生産者大会の開催

栗生産者大会を開催し、栽培技術に関する研修や他県等における先進事例の紹介等を行うことで、栗の生産拡大及び担い手育成を推進する。

新資材を使用した栗大苗育苗技術の開発

育苗管理や植栽に係る作業負担を軽減できる大苗の育苗技術を開発し、効率的な新植・改植を推進する。

栗新品種「ぼろたん」レシピ集の作成及び配布

「ぼろたん」レシピ集を作成・配布し、消費拡大を図る。

(款) 6 農林水産業費	(項) 1 農業費	(目) (9) 園芸特産物対策費
(明細書事業名)	青果物等生産対策費	
	高級くだもの「ぎふ富有柿」創出推進事業費	
	くり王国岐阜づくり推進事業費	